

平成 26 年 4 月 28 日

各 位

会社名 ショットモリテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 隆雄
(コード番号：7714 東証第一部)
問い合わせ先 人事総務部長 加納正和
電 話 番 号 048-218-2527

ショットモリテックス 16K ラインスキャンカメラ用レンズ ML-F90C-07 を発売

— 高精度検査アプリケーションに対応した 16K ラインスキャンカメラ用レンズ —

マシンビジョンと画像関連機器メーカーのショットモリテックス株式会社(本社:埼玉県朝霞市、代表取締役社長 佐藤隆雄、東証一部、証券コード:7714)は、この度、16K(16000 画素)カラーラインスキャンカメラに対応したマシンビジョンレンズ「ML-F90C-07」を開発いたしました。

ショットモリテックスでは、この高性能 16K ラインスキャンカメラ用レンズ「ML-F90C-07」を 4 月 30 日より販売開始いたします。

ショットモリテックスでは、半導体製造装置や液晶製造装置、電子部品実装機、工場のライン監視、製造ラインなどの画像処理関連分野向けに、光源装置や光ファイバライトガイド、マシンマイクロレンズ(MML)、CCTV レンズ、LED照明装置、CCD カメラなどの光学系部品を組み合わせたマシンビジョンシステムを販売し、広く産業界で利用されております。

今回ショットモリテックスが発売する「ML-F90C-07」は、高密度実装による配線基板のファインピッチ化、LCD パネルの高精細化の市場トレンドを受け、より高い検査精度を必要とするハイエンドアプリケーションのお客様をターゲットとして開発された高性能ラインスキャンカメラ用レンズです。

最大の特徴は、150lp/mm 以上の解像力を実現したことで、それにより、最新の 16k/3.5 μ m の高画素ラインセンサーの能力を最大限に引き出し、より高精度な検査アプリケーションに対応することが可能となりました。また、レンズの口径を従来比 20%アップしたことで、4 倍以上の明るさを実現いたしました。高速処理が必要なアプリケーションに対しても十分な性能を発揮します。さらに RGB がカラー補正されているため、忠実な色の再現を必要とするカラー処理にも最適です。

今後は、ハイエンドラインスキャンカメラ向けに「ML-F90C」シリーズとして、順次ラインナップを拡充していく予定です。

ショットモリテックスは、レンズ・照明・カメラを組み合わせたマシンビジョンシステムのリーディングカンパニーとして、多様なニーズを持つ画像処理市場に、ユーザーが求める画像処理環境を「トータルソリューション」として提供してまいります。

■ 16K ラインスキャンカメラ用レンズ「ML-F90C-07」の特徴

- 用途： 外観検査
事例： LCDガラス検査、TFT 検査、ファインピッチPCB検査 等
特徴： ・倍率 0.7x
・焦点距離 97.62mm
・WD 181.3mm
・解像力 150lp/mm
・最大対応素子サイズ 62.5mm
・RGB 色補正をしたカラーカメラにも対応した設計

■ 「ML-F90C-07」の製品写真



■ 希望小売価格： ¥350,000（税別）

※本製品の発売による平成26年9月期業績に与える影響は織り込み済みです。

■ 本件に関するお問い合わせは

ショットモリテックス株式会社
製品統括・技術開発本部
プロダクトマネジメント・マーケティング部
〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水 3-13-45
TEL: 048-218-2536
FAX: 048-462-6713
e-mail: moritex.mvs@schott-moritex.com
URL: www.schott-moritex.co.jp